日本キリスト教団 東金教会〔15〕

２０１８年４月15日 復活節第３主日礼拝

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	土中	屋村
奏楽	今藤	井本
受付	藤井	田上
案内	係	延
名札	祈祷	安
礼拝感謝	〃	〃
前奏	中	村
新聖歌 19	一	同
使徒信条 566		〃
交読文 13	司・会	衆同
主の祈り 564	一	同
聖書 ヨハネ福音書 10:7～18	司会者	
祈祷	土	屋
新聖歌 2	一	同
み言葉の伝え「羊の声を聞く羊飼い」	朴	
讃美歌 354	一	同
献金		
礼拝感謝	井	上
〃 〃	安	延
報告	土	屋
頌栄 541	一	同
祝祷(派遣)	朴	
後奏 新聖歌58	聖歌隊	

【集会案内】

聖書研究祈祷会　4月１８日(水)午後7時半～
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖書輪読会　4月２２日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　4月２２日(日)10:25-10:30

【報告】

☆4月２９日の礼拝は梅田　　先生にご奉仕をお願い致します。お覚え下さい。
☆4月３０日（昭和の日の振替休日）教会学校ハイキングを予定（場所…昭和の森公園）しております。ご参加下さる方は当日午前９時２０分までに教会に集合下さい。
☆5月１３日は教会総会がございます。又、６日は総会資料作成日です。宜しくお願い致します。
☆同日教会学校では母の日礼拝を予定しておりますご加祷下さい。
☆5月２０日はペンテコステ（聖霊降臨日）です。受洗を希望される方は中村牧師まで申し出下さい。

【東金教会定期総会公告】

日時…２０１８年5月１３日礼拝後
場所…東金教会会堂
議事…長老選任の件
　　その他

【教区・支区・分区報告】

○千葉支区総会　4/23(月)10時～ 於・西千葉

【4月１５日～4月２１日の誕生者】

○佐藤　君　○小田　　姉　○山本　　姉
○中村　兄　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(4/8)	18	28	46
聖研祈祷会(4/11)	4	5	9
聖書輪読会(4/8)	2	5	7
教会学校(4/8)	10	18	28

早天祈祷会 日	男	女	計
4/9	1	2	3
4/10	1	2	3
4/11	1	2	3
4/12	1	2	3
4/13	1	3	4

主日礼拝献金(4/8)……２９,８０７円
教会学校献金(4/8)……８,１５０円

【今日のメッセージ】

題　［羊の声を聞く羊飼い］
聖　書　フィリピ書2:1～4
1・わたしは良い羊飼い

2・羊の声を聞く

3・囲いの外の羊をも

【次週(４月22日)礼拝案内】

題　「キリストの従順」
聖　書　フィリピ書2:5～11
交読文　１４
讃美歌　１２番　２９４番
新聖歌　３５６番

【次週(4月22日)礼拝当番者】

御言葉の伝え	…	中村征一郎
司式者	…	藤田里枝
奏楽者	…	中島延
受付者	…	三中屋
案内者	…	中部寺
名札当番	…	安林
礼拝感謝祈祷	…	宮田
〃 〃	…	土
cs お話し	…	岡
会堂清掃者	…	薬師
〃 〃	…	
花係	…	小
看板書き	…	藤

【聖書から】

「キリストの中に生きる時、あなたの歩みは、あなたを強くする。そして彼の愛はあなたをなぐさめる…。」フィリピ書二章一節

右はフィリピ書二章一節の別訳である。あまりに共同訳と(そして改訳聖書とも)異なるものであり、どうしてこんな訳となるか浅学な者には不明だが、ともかくこう訳することができると言う。そして筆者にはこの訳の方が親しみ易い。

先ず、ここでは「(あなたが) キリストの中に生きる時」と言う。私たちは本当は何処に生きているのだろうか。世の人の生き方は様々である。人が何を第一にし、何を中心にして生きるかはいろいろあるだろう。名誉、権力、プライド、金銭、安定、世間の評判…。しかしもし、あなたがこのような世のものでなく、キリストと共に歩みたいと願い、足りないながら一生懸命主の名を呼びながら従おうとするなら「あなたのその生き方はあなたを強くする」。確かな、確信に満ちた生き方で生きることができると言う。そのような生き方は私たちの願いではないか。私たちはいつもビクビクしながら生きている者である。己の生に確信が持てないのである。どんなに強く見える人でもその内実は不安に満ちている。だからこの世の力を纏い、その鎧で身を守ろうとする。けれどもその鎧は紙の鎧であり、人の生の根源の不安はそれでも必死にこの紙の鎧を着込もうとする。我らの生の根源に命を与える唯一なる神を信じられない者の悲しい性である。そしてこの不信はキリスト者以外の者の悲劇だと言うなら、私たちは己の内実をよく見ていないことになる。私たちもこの不信の中にもがいている。それは赤裸々に己を見るならば否定のしようがない。けれども私たちはそれでも神にすがる者である。罪の中、汚れの中、不信の中、傲慢の中に生きつつ、その中で、僅かに「主よ！」と言うことを許されている。そして暗黒の中のこの一条の光こそ我らの希望である。神は我らに光輝く存在であることを期待していない。消えかかる蛍の光のような者を救い上げて下さる主を強く握りしめて行きたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。